

L'Ombre du Shinobi [忍びの影]の一部
ヴァレリー・アルヴェ作
後藤寛訳



ケベックアメリカ(Québec Amérique)出版 (カナダ)
フランス語にて発行
2019年初版発行
表紙の絵：こうじょう雅

ヴァレリー・アルヴェの作品は全てフランス語で執筆されていますが、当サイトでは Les Fleurs du Nord の最初の数章が日本語で閲覧可能です。L'Ombre du Shinobi [忍びの影]は2020年ケベック市文学賞 (Prix de création littéraire de la ville de Québec)ノミネート作品です。

白の日記 (p. 101)

今日直喜は貴人である火伎一族の者をともなって我々の家の敷居の前に姿を現した。火伎は驚くほど鮮やかな直毛の赤毛の持ち主で、おのれの家系と武勇に誇りを持つ戦士である。ヒーラーとして偉大な賢者がとったこの決断に私は驚きを隠せなかった。年の頃私と同年ぐらいに見えるがこの少年の関心は私のそれとは異なっていた。その年齢と家系にも関わらず、読み書きもできないばかりか習おうとする意欲も感じられない。より強くなることしか眼中にないのだろう。將軍龍気のような伝説的な相手と対峙するという無茶な試練が待ち受けていることを考えると、彼のことが少し不憫に思われた。だが諦めるのは早い。この少年もまた伝説的な戦士になるかもしれない。確かに野心はある。それに敵を食い止めるだけの体格も持ち合わせている。彼の筋肉に少し嫉妬心を覚えた。鍛錬すれば私でも彼並みの筋肉を手に入れることができるかも。いや、やっぱり無理だ。それにそんなことには興味がない。

読み書きを覚えることに興味がない宅と少し似ている。
奇妙だ。よく見ればお互い多少共通点がある。



この小説の作者『ヴァレリー・アルヴェ』は、カナダ人小説家、社会学研究者かつ作詞家、歌手である。根っからのロマンティストで、生きることに関心を燃やしている。本作品の舞台であるケベック州シャルルボワ地方に生を受けた。カナダ国内では既に数冊の著作がある。夫婦デュエット『夢』の作詞とボーカルを担当。フランス語と日本語で歌っている。

2015年のNHK Worldコンクール「We love Japanese Songs」に参加。「残酷な天使のテーゼ」を歌って審査員特別賞を獲得した。大学院生（社会学博士課程）でもあり、現

在はケベック州のレヴィ市に夫と二人の子供と住んでいる。ヴァレリ・アルヴェは日本に関する本を既に6冊フランス語で出版しています。旅行エッセー、日本の少子化に関する考察、そして4～8歳の幼児を読者対象とした日本紹介の本です。

<http://www.nomadesse.com>